

高知憲法速報

N 163 2008. 7. 2

発行：高知憲法会議事務局

088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

8・15 戦争を語り継ぐつどい

今年の8月15日終戦記念日は、次のような集会を開くことになりました。ご協力をお願いします。

集会名称；「8・15 戦争を語り継ぐつどい」

日時；8月15日(金)午後6：30～8：30

会場；高知市本町 人権啓発センター6階ホール

講師；岡村正弘 「平和資料館草の家」館長

演題；「戦後63年 語り継ぐべきもの」(仮題)

講師略歴；1937年高知市生まれ(71歳)

1945年7月4日の高知空襲で母と妹を失う

1959年から1998年まで高知市民病院放射線科で放射線技師として勤務、組合活動や平和運動に取り組む 2005年から草の家館長 小学生への「平和の語り部」活動などを行なっている

被爆者の証言(予定)；永野初枝さん(南国市在住)

19歳のとき広島で被爆 体調悪くなければ証言可
会費；参加費一人500円

主催；8・15集会実行委員会 事務局；高知憲法会議

第2回実行委員会 7月7日(月)3：30～5：00

高知城ホール県教組会議室または民主団体の部屋
前回欠席の団体もお集まりください

憲法9条京都の会 / 思想信条超え「発足の集い」に1000人超す参集

毎日新聞6月30日地方版
思想信条にかかわらず憲法9条の理念を守り広めるため連帯する「憲法9条京都の会」が29日発足した。府内で活躍する約340の「9条の会」の連絡会的役割をめざす。下京区のシルクホールで同日あった「発足の集い」には立見も含め1000人を超える参加者があり、代表世話人で哲学者の鶴見俊輔さん、作家の瀬戸内寂聴さんらの話に聞き入った。代表世話人にはこの他、立命館国際平和ミュージアム名誉館長の安斎育郎、哲学者の梅原猛、臨済宗相国寺派管長の有馬頼底、狂言師の茂山千之丞の各氏も名を連ねた。

「集い」では鶴見さんが「9条に寄せる私の想い」と題して記念講演。戦前のアメリカ留学体験や軍隊体験を紹介しながら「みんな同じ方向に行こうとする日本人の感覚に、決して戦前のようにならないとは言い切れない恐怖を感じる」と前置きした後、「みんなで一斉に『9条を守ろう』なんて大声を上げるの

署名集約状況 7/2現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	4,315
県教組		1,133
高教組	10,000	221
私学教組		30
自治労連		3,874
県国公		2,200
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	16,849
商工団体連合会	15,000	16,718
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,697
小計		70,914
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	73,094
こうち九条の会街頭署名		6,732

は、ある意味いつか来た戦前の感覚と同じ。求められるのは、一人一人が自分の”蝸壺”から離れず、等身大で世の中の動きを自分の感性でとらえながら行動すること。その行動を持ち寄ろう」などと説いた。

瀬戸内さんは「殺すなかれ、という仏教の戒律を守ることは、普通ならそう難しくはない。しかし、戦争などの極限状態になると、守るためには命を懸けなければならぬ。戦争ほど許されないことはない」と訴えた。

7月5日(土)「こうち九条の会」の街頭宣伝は他の行事との関係で時間を早めて12：30から1：30まで行ないます。帯屋町グリーンロード

